

認知症の正しい理解を 北上市高齢者介護セミナー

北上市高齢者介護セミナーは7日、さくらホールで開催されました。同セミナーは2部構成で、第1部は、認知機能チェックや、骨量測定、体力測定などの体験コーナーを実施。第2部では認知症ワーキンググループ代表の中村成信氏が「ぼくが前を向いて歩く理由」と題し、認知症の当事者としての体験談を交え講演を行いました。講演の中で中村氏は「認知症になっても悲観することはない。毎日、楽しく過ごせるということを伝えていきたい」と話していました。

体験談を交えながら若年性認知症への理解を求め講演を行う中村さん(右)



リボンツリーに飾り付けを行う双葉幼稚園の園児たち

暴力のない社会を目指して オレンジリボン・パープルリボンツリー点灯式

オレンジリボン・パープルリボンツリー点灯式は14日、江釣子ショッピングセンター・パルで開催されました。オレンジリボンは児童虐待防止、パープルリボンは女性への暴力の根絶のシンボル。11月の児童虐待防止月間、12日～25日の女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせ開催されました。式では双葉幼稚園の園児59人が歌と踊りを披露し、園児の代表や関係者らでツリーの飾り付けが行われ、点灯式でツリーに明かりがともされました。

芋の子汁であったか 北上市内避難者芋の子交流会

北上市内避難者芋の子交流会は15日、北上市総合福祉センターで開催されました。東日本大震災で市内に避難している51人が参加。スコップ三味線やどじょうすくいなどの催し物が披露された後、北上市食生活改善推進員協議会の皆さんが調理した二子さといもを使った芋の子汁と栗おこわが振る舞われました。

陸前高田市から上野町に避難している河野辰子さんは「とろとろの芋の子が大変おいしい」と料理を味わっていました。

参加者は二子さといもを使った芋の子汁に舌鼓を打っていました



テープカットが行われた後、浄水場の通水が開始されました

安全・安心な水を供給 和賀川浄水場通水式

和賀川浄水場通水式は19日、北鬼柳に新設した同浄水場で行われました。同浄水場は7月に老朽化のため休止した江釣子浄水場の水源と和賀川の地下水源を利用し、日に5,960m³を取水。浄水された水は藤沢配水池へ送られ、各家庭へと届けられます。

通水式には関係者約50人が出席。高橋市長が「今後も広域化のメリットを生かし効率的な経営を行い、安全安心な水を供給していきたい」とあいさつし、テープカットが行われ通水が開始されました。

宝くじの助成金で地域振興 除雪機、プロジェクターなどを整備

山口自治会(高橋義明会長)は(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(一般コミュニティ助成事業)を活用し、除雪機、会議用のイスやテーブル、プロジェクター、スクリーンを整備しました。9日の山口地区作品展示会&お重ランチバイキングで初披露され、テーブルなどが使用されたほか、除雪機が展示されました。高橋会長は「雪の多い地域なので、冬場の活動もしやすくなる。地域活動の拠点としてコミュニティ活動に使用していきたい」と話していました。

お披露目された除雪機と記念撮影に応じる高橋自治会長ら



訪れたたくさんの方がステージ上での演奏に魅了されました

スコップの技に拍手喝采 第1回すこっぷ三味線岩手県大会

第1回すこっぷ三味線岩手県大会は10月26日、夏油高原スキー場特設会場で開催されました。個人の部には15人、団体の部には7団体が出場。会場には1,400人を超える人が訪れ、立ち見も出るほどの大盛況となりました。出場者は思い思いの衣装で日ごろの練習の成果を披露。アトラクションとして津軽すこっぷ三味線家元のたておかびょうぶざん館岡屏風山氏も演奏を行うなど、観客はステージ上のばちさばきに大きな歓声と拍手を送っていました。

百歳これからもお元気で

鈴木タキヨさん

常盤台にお住まいの鈴木タキヨさんが百歳を迎え10月27日、市内すし店で祝う会が開かれました。タキヨさんは大正3年10月25日生まれ。19歳で故万治さんと結婚し、子5人、孫6人、ひ孫8人に恵まれています。昔は着物の仕立てを行っており、現在でも趣味の裁縫に生かしています。月に1度、友人と温泉に行くのが楽しみというタキヨさん。100歳になった感想を聞かれると「皆さんに守ってもらって楽しい毎日を過ごしています」と笑顔で話していました。

花束を手に高橋市長と記念撮影に応じるタキヨさん(中央左)



家族や親戚に囲まれ、祝福を受けるミトリさん(中央)

阿部ミトリさん

ショートステイ花巻とまに入所している阿部ミトリさんが百歳を迎え10月21日、同施設で祝う会が行われました。ミトリさんは大正3年10月15日生まれ。18歳で故林五郎さんと結婚し、子4人、孫7人、ひ孫9人に恵まれています。旅行が好きでハワイにも2度行ったことがあるというミトリさん。餅が好物で、食事は現在でも自分でとっているそうです。最近は居室で休むことが多くなりましたが、施設職員との会話が毎日の楽しみだそうです。